

日本財政学会 国際学会報告支援制度

2023年1月10日

支援詳細

1. 対象会員：修士課程（博士前期課程）修了もしくは博士課程（博士後期課程）開始の遅い方から数えて15年以内の会員（ただし、当該年度の会費支払済の会員であること）。特別会員は対象から除く。
2. 支援金の額（1人あたり）：20万円
3. 年度内補助人数上限：3名
4. 対象学会：国際・海外学会（日本開催の場合は除く）。例えば、International Institute of Public Finance (IIPG), Association for Budgeting and Financial Management (ABFM), Social Science History Association (SSHA) の各年度大会。
5. 応募メ切り：上記3学会の大会応募締め切りを念頭に3回のメ切りを設定（ただし、支援対象となる学会は上記3つに限らない）、年度によって適宜変更。2023年は3月1日、4月1日、7月1日。
6. 選考方法：
 - (1) 各メ切りに原則1人の候補者を選考（各メ切りの支援枠は原則1人）。
 - (2) 参加する海外学会による報告の承諾 (accept)・却下 (reject) の結果を待たずに発表応募のみの段階で、候補者を選定。支援金は報告の応募が承諾されることを条件に支給。
 - (3) 選考は常任理事会による（別途、選考委員会は設けない）。
 - (4) 各メ切りから3週間以内に結果を公表。
 - (5) 選考順位はニーズ（応募者が利用できる研究費の金額）による。
 - (6) 応募者が存在しない場合、もしくは、続くメ切りの前に候補者の応募が却下された場合、それらによって空いた支援枠は次回に繰越 (e.g., 1回目に該当者が無ければ2回目の支援枠は2名、引き続き2回目に該当者が無ければ3回目の支援枠は3名)。
 - (7) 前回までの選考に漏れた会員も次回以降に応募可能 (e.g., 2回引き続き漏れた会員でも3回目も可能)。
 - (8) 最終募集メ切り（3回目）後に候補者の報告応募が却下された場合を含め、最終募集メ切り後に支援枠が残る場合は、追加募集（メ切りは適宜設定）。3回目までの選考で漏れた会員も応募可能。
7. 支援金支払時期・方法：別途定める。

応募手続

1. 以下の情報とともに学会宛電子メール (g016jipf-mng@ml.gakkai.ne.jp) で応募する。
2. 電子メールの件名を「国際学会参加支援応募」とし、本文では当該制度に応募する旨とともに以下を明記する。
 - ✓ 氏名, 所属, 職位 (大学院生の場合, 課程及び年次)
 - ✓ 応募する海外学会および当該大会ウェブサイトへのリンク
 - ✓ 報告受諾が判明する時期
3. 上記電子メールには以下のファイル (pdf 形式) を添付する。
 - ✓ 応募者の学歴・職歴 (Researchmap 等へのリンクの記載でも可)
 - ✓ 当該学会開催年度における全ての研究費の金額を示す資料
 - ✓ 大会に応募したことを示す資料 (e.g., 応募完了を示す電子メールやウェブページの写し)
 - ✓ 応募した報告論文原稿

参考：既述 3 学会の 2023 年度報告申し込み期限

- IIPF: 2 月 15 日 (<https://www.iipf.org/cng.htm>)
- SSHA: 3 月 1 日 (https://ssha2023.ssha.org/hps/2023_SSHA_CFP.pdf)
- ABFM: 未定. 2022 年は 6 月 1 日 (<https://abfm.org/annual-conference/call-for-proposals/>)

問い合わせ先：林正義 (代表理事) hayashim@e.u-tolyo.ac.jp